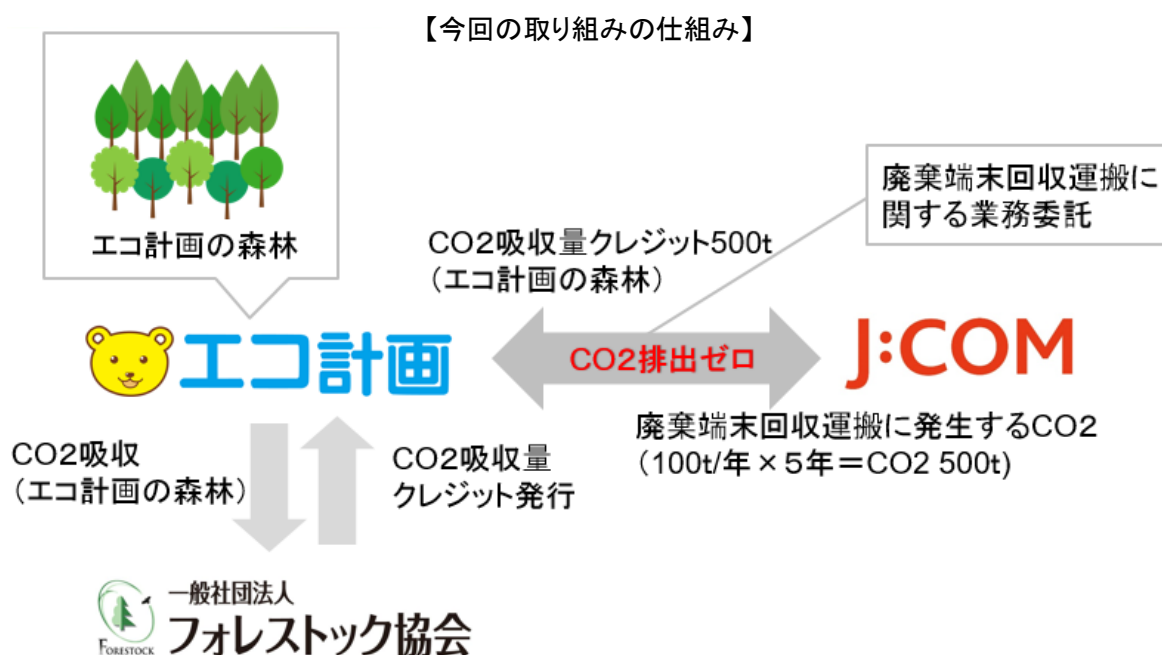


## ～グリーン物流への取り組み「物流をコストからバリューへ」～ 廃棄端末等の回収運搬時に発生するCO2排出を5年間ゼロへ フォレストック協会のCO2吸収量クレジットを活用

株式会社ジュピターテレコム(J:COM、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井村 公彦)は、今年度より5年間、一般社団法人フォレストック協会(以下、フォレストック協会)のフォレストック認定制度を活用し、当社営業活動に関わる廃棄端末等の回収運搬時に排出するCO2をゼロにする取り組みを行います。

当社は、お客さま宅をつなぐケーブルや宅内の放送通信端末など1,000種類以上の機器を扱い、宅内端末の輸送量は年300万台にも上ります。J:COMではこれまでも、「物流をコストからバリューへ」をビジョンとしてグリーン物流に取り組み、「物流業務から排出される温暖化効果ガス(CO2)を2020年度までに20%削減」(2016年度比)を目標として運送便の削減に努めて参りました。

このたびの取り組みは、このグリーン物流の一環として、フォレストック協会が認定するCO2吸収量クレジットを活用し、廃棄端末等の回収運搬時に排出するCO2をゼロとするものです。当社は廃棄端末等の回収を株式会社エコ計画(以下、エコ計画)へ業務委託しており、エコ計画は群馬県高崎市にフォレストック協会の認定森林「エコ計画の森林」を所有しています。今回は、この「エコ計画の森林」によるCO2吸収量クレジット500tを活用し、エコ計画への業務委託に関して発生する年間あたり約100tのCO2を5年間埋め合わせます。

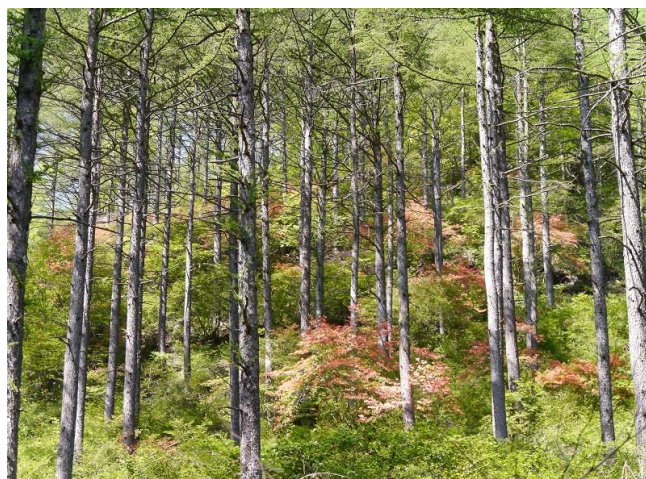


また、J:COM では、当社が提供するサービス「J:COM 電力」の取り組みとして、お支払いいただく電気料金の一部で森林保護活動を支援する「J:COM グリーンプログラム」も実施しています。この「J:COM グリーンプログラム」もフォレストストック協会の「フォレストストック認定制度」を用いたもので、1世帯につき約5平方メートルの森林を1年間にわたって守ります。

J:COM では、社会の一員として、よりよい未来のため、積極的にCSR 活動を行い、地域に根差した企業として地域と社会に貢献してまいります。



【J:COM グリーンプログラムの仕組み】






【エコ計画の森林】

適切かつ持続的な森林管理と生物多様性の保全が図られている

【ご参考】 J:COM の CSR 活動

<p>募金オンデマンド</p>	<p>VOD サービス「J:COM オンデマンド」のシステムを使った災害等への募金活動。J:COM のテレビサービスご加入のお客さまが、リモコンの操作一つで家にいながら簡単に募金に参加できるサービスです。</p> <p>J:COM は寄付と同額を加算し、寄付先団体にお渡しします。</p> <p>また、東日本大震災関連番組を VOD にアーカイブし、後世に伝えて行く取り組みを行って参ります。</p>	
<p>J:COM × Readyfor “次世代を創るチャレンジ”への支援</p>	<p>国内大手のクラウドファンディングサービスを運営する READYFOR と連携。若者の挑戦を支援すべく、READYFOR 上で集まった支援金額と J:COM が同額を拠出するマッチング・ギフトプログラムを提供しています。</p> <p>* これまで、第一弾、第二弾を実施</p>	

<p>CLEAN UP OUR TOWN</p>	<p>ステークホルダーとの連携のもと、全局が地域のみなさまとともに清掃活動。今年で 11 年目を迎えます。</p> <p>【2017 年度実績】</p> <p>全国 68 会場にて総計約 7 トンのゴミを回収。</p> <p>一般参加者 × 100 円を熊本市文化財災害復興支援金として寄付しました。</p>	 <p>CLEAN UP OUR TOWN 2017</p>
<p>いきいきウォーキング</p>	<p>一般参加者を公募し、地域のみなさまとふれ合いながら各地域の名所や街を歩くイベント。ステークホルダーと連携して計画を立て、歴史や文化に触れながら街を散策できるルートを考案しています。</p> <p>今年で 9 回目。</p> <p>【2017 年度実績】</p> <p>実施箇所 10 箇所(うち 1 箇所荒天中止)</p> <p>参加人数：483 名</p>	 <p>墨田区観光協会と連携「鬼平犯科帳ゆかりのスポット読み歩き」</p>
<p>J:COM グリーンプログラム</p>	<p>J:COM へお支払いいただく電気料金の一部で、森林保護活動を支援する活動。</p> <p>「フォレストック認定制度」を用い、「J:COM 電力 家庭用コース」の加入世帯数に応じて「CO2 吸収量クレジット」を J:COM が購入し、その売り上げが森林を守る活動に使われます。</p>	

### フォレストック認定制度について (一般社団法人フォレストック協会 [www.forestock.or.jp/](http://www.forestock.or.jp/))

適切かつ持続的な森林管理と生物多様性保全が図られている国内森林を対象とし、制度の基準に則り認定される。認定された森林から創出される CO2 吸収量を認証し「CO2 吸収量クレジット」として発行、売買流通への利用を認める制度。国連・日本政府と並び、民間では唯一の CO2 クレジット認定制度として 8 年間の運用実績があり、国内外の企業が CO2 クレジットの購入を通じて CSR 活動等として、企業価値の向上と社会貢献活動の融合に活用している。クレジット代金は認定森林へ渡り、植栽や間伐、林道の整備、林業機械の購入などに活用される。

### ジュピターテレコムについて [www.jcom.co.jp/](http://www.jcom.co.jp/)

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995 年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの 27 社 73 局を通じて約 538 万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約 2,142 万世帯です。番組供給事業においては、17 の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。※上記世帯数は 2018 年 3 月末現在の数字です。